

文章題テスト・小説(2)

月 日
名 前

★つぎの文しようを読んで、あとの問いに答えましよう。

おかしなはがきが、ある土曜日の夕がた、一郎のうちにきました。

かねた一郎さま 十九日

あなたは、ごきげんよろしいほど、けっこです。
あした、めんどなさいばんしますから、おいで
んなさい。とびどぐもたないでくなさい。

山ねこ 拝

こんなのです。字はまるでへたで、墨もがさがさして指につくくらいでした。けれども一郎はうれしくてうれしくてたまりませんでした。はがきをそつと学校のかばんにしまって、うちじゅうとんだりはねたりしました。

ね床にもぐってからも、山猫のいやあとした顔や、そのめんどうだという裁判のけしきなどを考えて、おそくまでねむりませんでした。

けれども、一郎が眼をさましたときは、もうすっかり明るくなっていました。おもてにでてみると、まわりの山は、みんなたたいまできたばかりのようにうるうるもりあがって、まっ青なそらのしたにならんでいました。一郎はいそいでごはんをたべて、ひとり谷川に沿ったこみちを、かみの方へのぼつて行きました。

すきとおった風がざあっと吹くと、栗の木はばらばらと実をおとしました。一郎は栗の木をみあげて、

「栗の木、栗の木、やまねこがここを通らなかつたかい。」とききました。栗の木はちよつとしずかになつて、

「やまねこなら、けさはやく、馬車でひがしの方へ飛んで行きましたよ。」と答えました。



「東ならばくのいく方だねえ、おかしいな、とにかくもってってみよう。栗の木ありがとう。」

栗の木はだまってまた実をばらばらとおとしました。

一郎がすこし行きますと、そこはもう笛ふきの滝たきでした。笛ふきの滝たきというのは、まっ白な岩の崖がけのなかほどに、小さな穴あながあいていて、そこから水が笛のように鳴って飛び出し、すぐ滝たきになって、ごうごう谷におちているのをいうのでした。

6 一郎は滝たきに向かむって叫さけびました。

「おいおい、笛ふき、やまねこがここを通らなかつたかい。」

滝がぴーぴー答えました。

「やまねこは、さっき、馬車で西の方へ飛んで行きましたよ。」

「おかしいな、西ならばくのうちの方だ。けれども、まあも少し行ってみよう。

ふえふき、ありがとう。」

滝はまたもとのように笛を吹きつづけました。

(みやざわけんじによる)

(注) とびどく…飛び道具(てっぽうなど)のこと

拝…自分の名前の後につけて、相手(あいて)をうやまうことば

かみの方…川上(かわかみ)・上流(りゅう)

1 線「おかしいなはがき」について、次のようにまとめました。□に当て

はまることばを、文中からそれぞれ書きぬきましよう。

・ 山ねこ(山猫・やまねこ)

から、一郎あてにとどきました。

・ 字は **(まるで)へた** で、文もまちがいだらけです。

2 線2「うれしくてうれしくてたまりません」とありますが、この気持ちをもっともよく表れている部分を、文中から二十字まででさがし、はじめの五字を書きぬきましよう。

う	ち	じ	ゆ	う
---	---	---	---	---

うれしくてじっとしてられない様子を読み取ろう。



3 線3「すっかり」の使い方として正しいものを、ア～エから一つえらんで、記号に○をつけましょう。

- ア かみの毛を短く切ったら、気分がすっかりした。(すっきり)
- イ 教科書の入ったランドセルが、すっかり重い。(ずっしり)
- ウ 大切なやくそくを、すっかりわすれていた。
- エ この町は、十年前からすっかりかわらない。(ちっとも/まったく)

4 線4「ならんでいました」とありますが、何がならんでいたのですか。文中から五字で書きぬきましょう。

まわりの山

5 線5「谷川に沿ったこみちを、かみの方へのぼって行きました」とありますが、一郎は何をしに行ったのですか。次の□に当てはまるように書きましょう。

やまねこに会い(やまねこをさがし)

に行った。さいばんを見(に…)などでもよい。

6 線6「一郎は滝に向かって叫びました」とありますが、どうして叫んだのですか。もっともふさわしいものを、ア～エからえらんで、記号に○をつけましょう。

- ア 滝がうそをついていると思ったから。
- イ 何度聞いても、滝が答えてくれなかったから。
- ウ 滝が、見えないほど遠くにあったから。

エ 滝の音が、とても大きかったから。「笛のように鳴って」「ごうごう」から考える。

7 次の①、②に答えましょう

① □に入れるのにもっともふさわしい月を、ア～エからえらんで、記号に○をつけましょう。

- ア 三月
- イ 六月
- ウ 九月
- エ 十二月

② ①でえらんだ理由を、次の□に当てはまることを書いてせつめいしましょう。

栗(の木)

が

実をおとした

ことから、季節は

秋

だとわかるから。

「栗の実」(が)「おちた」などでもよい。

